

【卒業時】

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

外国語理解の能力

外国語表現の能力

	READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING		
	学習到達目標	定量的な数値指標 (CEFR, 共通テスト等)	学習到達目標	定量的な数値指標 (CEFR, 共通テスト等)	学習到達目標	定量的な数値指標 (CEFR)	やりとり	発表	定量的な数値指標 (CEFR)
S3	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ●教科書の本文の中の重要な点(とそうでない点)を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 ●共通テスト(リーディング)で50%以上の得点ができる。 ●共通テスト(リーディング)を時間内で全問解答き終えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書のリスニング活動に出てくる、10文程度の長さの話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。 ●リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 ●共通テスト(リスニング)で50%以上の得点ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 ●効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、まとめた文章で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●なじみのある話題について、英語で議論することができる。 ●英語のネイティブ・スピーカーと、本や映画などなじみのある話題であれば、新たな質問を思いつくなどして話題を発展させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が知っている映画や本のあらすじを英語で話すことができる。 ●自分の経験や身の回りで起こった出来事を英語でわかりやすくまとめて伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上
S2	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事をつながり)を理解できる。 ●教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。 ●教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ●英語のネイティブ・スピーカーがはっきりした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。 ●自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語のネイティブ・スピーカーと、自分のことなど、なじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 ●自分のスピーチに対する質問に英語で答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上
S1	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の本文を読んで、語彙などのヒントがあれば内容の大筋(出来事をつながり)を理解できる。 ●教科書の本文の内容について、簡単な質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA1以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語での簡単な指示(Stand up, Open your textbookなどの教室英語等)を理解できる。 ●Where do you live?などの簡単な質問は、ほぼ理解できる。 ●英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA1以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見や感想を表す英語の単語をいくつか書くことができる。 ●興味・関心のあることについて、簡単な文章を書くことができる。 ●自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語で簡単なあいさつや別れの言葉を交わすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●CEFRA2以上

※観点別学習状況の評価における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」及び「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点のうち、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標は「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」について設定する。ただし、学習評価は4つの観点を総合して行う。

※本学習到達目標例は技能別に示しているが、授業においては、4技能の総合的な指導を通して、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成することに留意する。